

# 日本海沿岸の 津波浸水想定について

山口県地震・津波防災対策検討委員会

# 1 想定方法

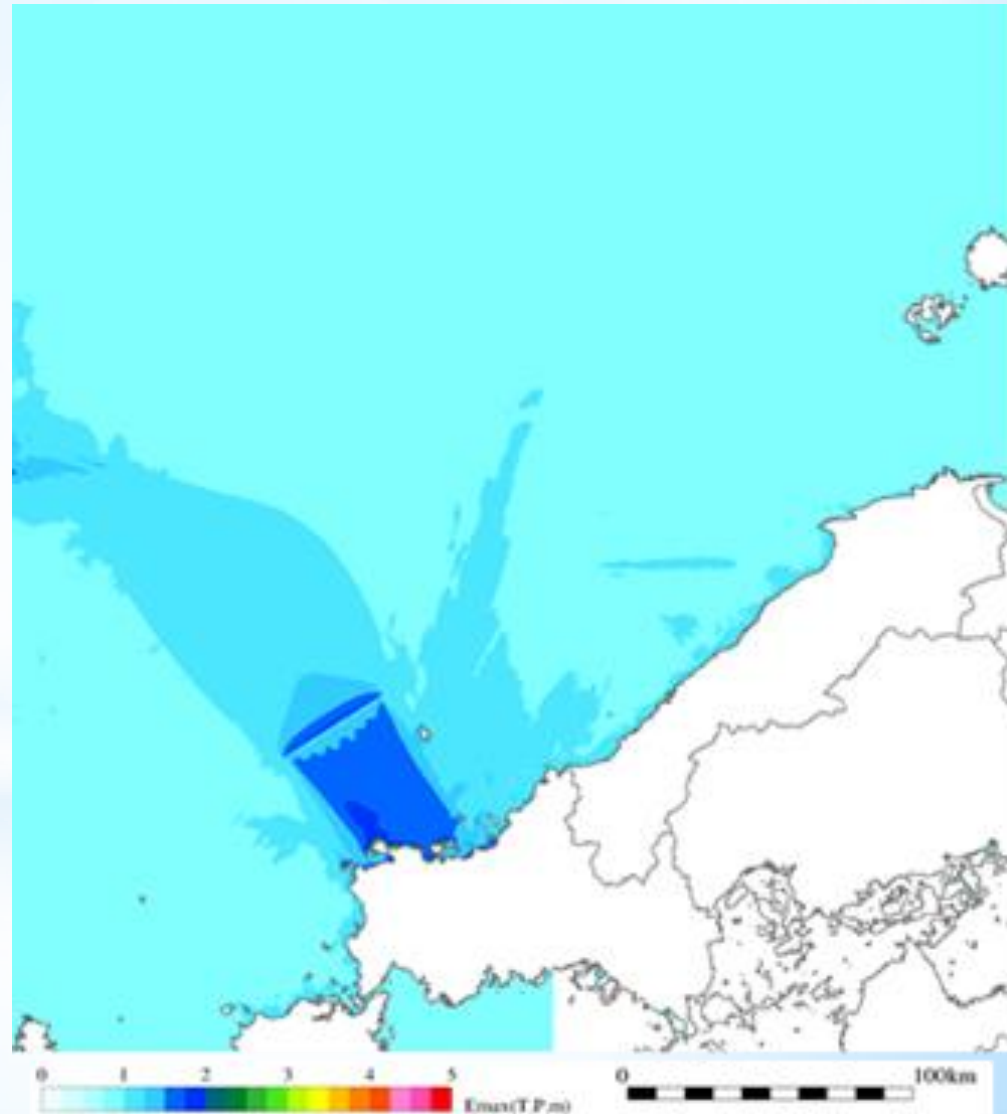
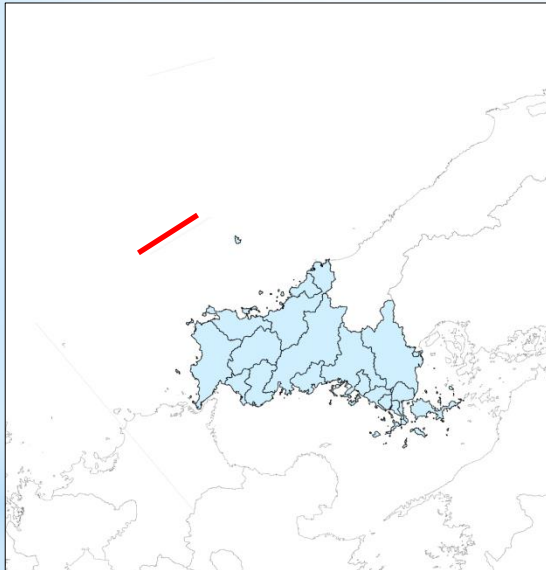
- 津波防災地域づくり法に基づき、国土交通省の手引きに沿って、対象とする津波や堤防条件等を設定。
- **最大クラスの津波が悪条件下**に発生する前提。

# 最大クラスの津波

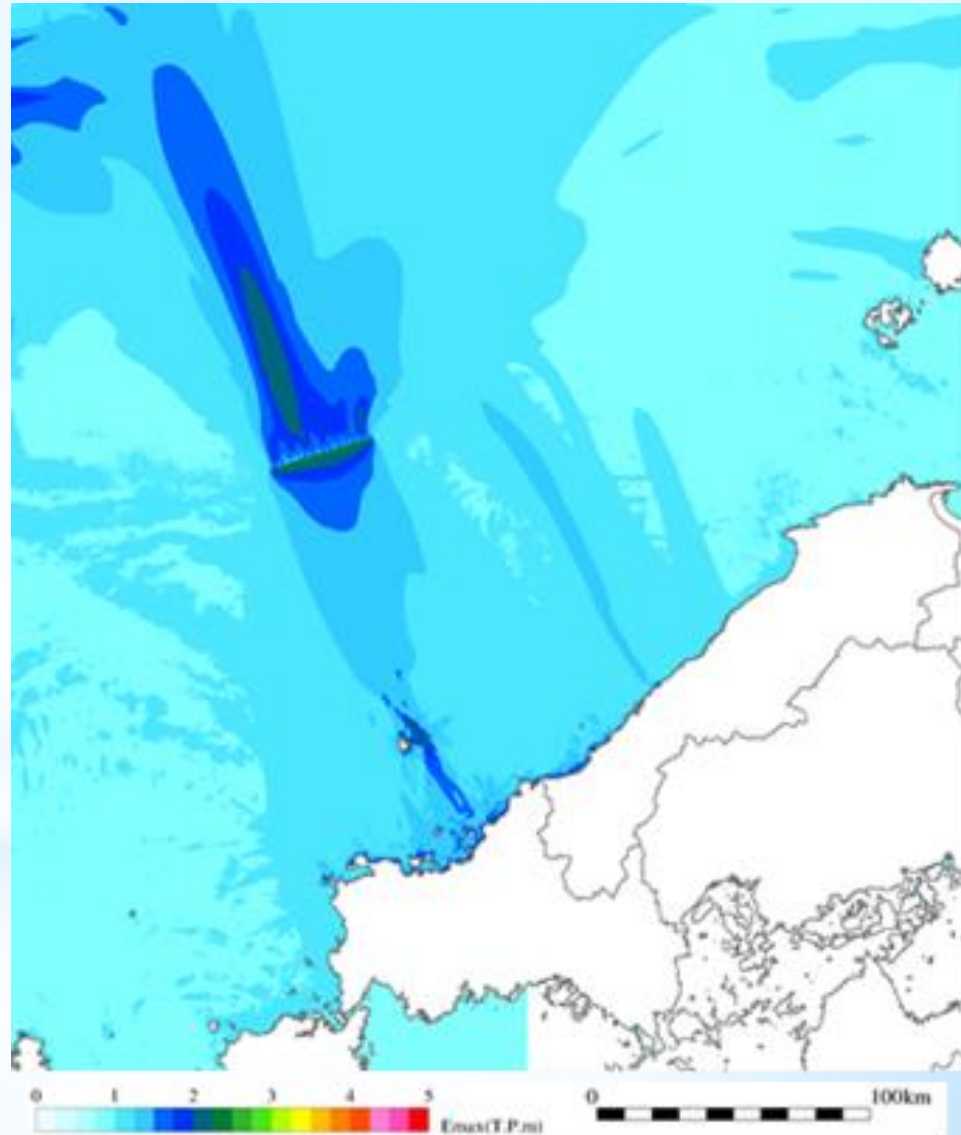
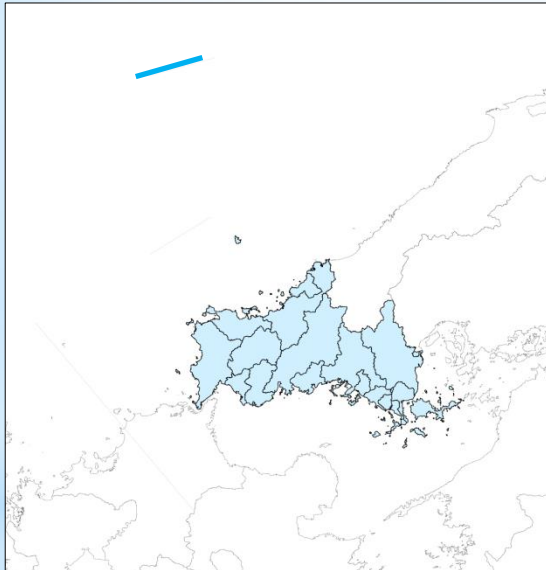
- ① 避難対策の重要性を考慮して、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波を想定。
- ② 科学的知見に基づき、県・国が想定した断層モデルの地震による津波を対象に、各モデルごとに津波高や浸水域等を推計。  
全ケースを重ね合わせて津波浸水想定図を作成。

# 津波断層モデル

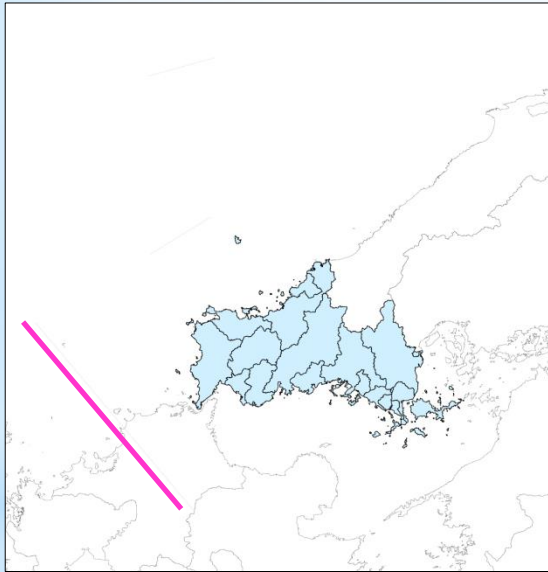
## ①見島付近西部断層〔県〕



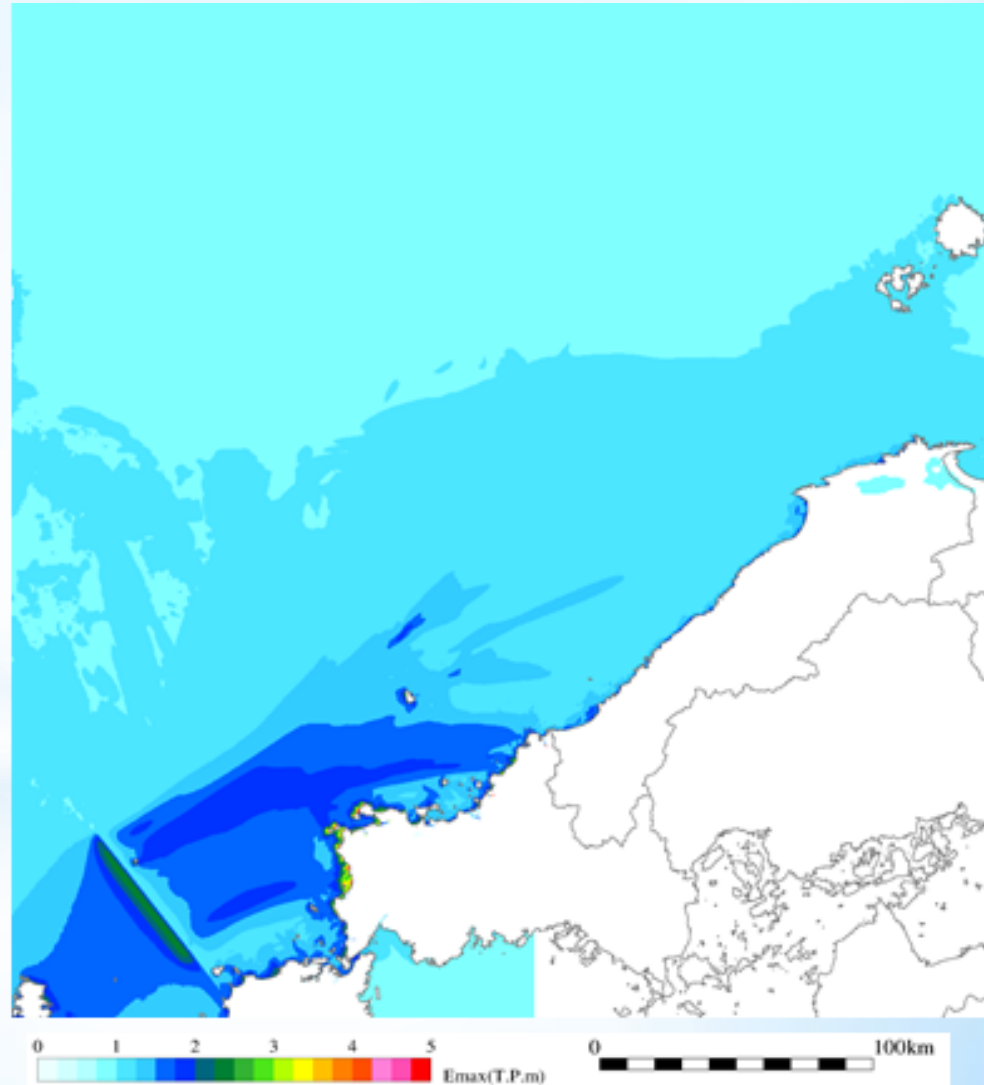
## ②見島北方沖西部断層〔県〕



### ③ F 6 0 断層〔国〕 (西山断層及び北方延長部の断層)

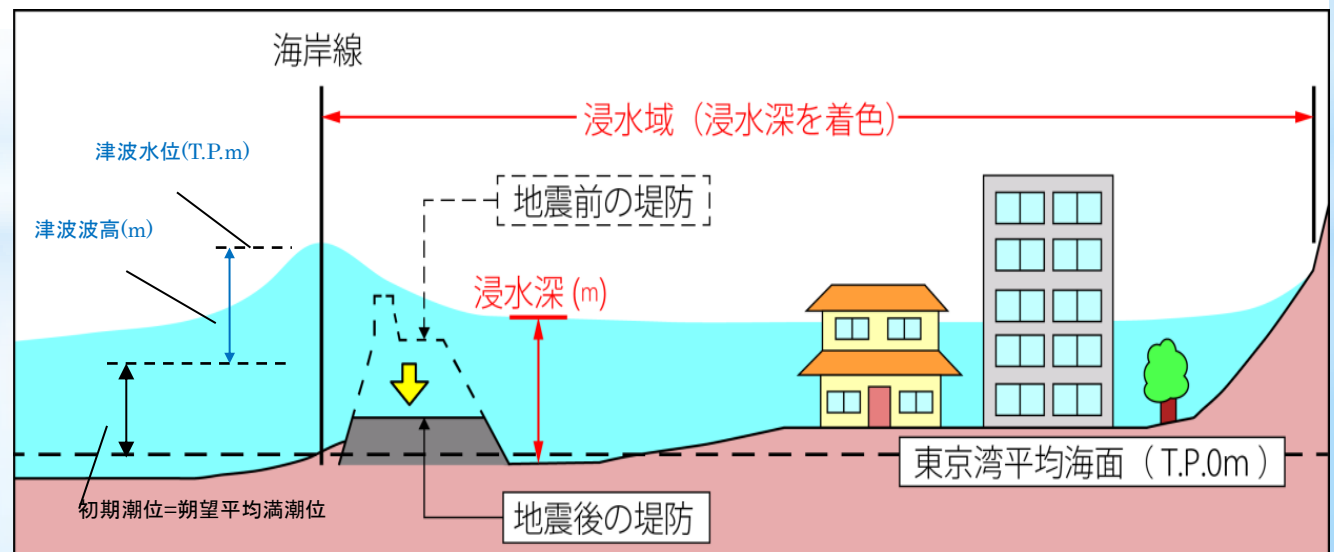


※国「日本海における大規模地震に関する調査検討会」



# 堤防の条件等

- 海岸構造物のうち護岸や防波堤などのコンクリート構造物は、震度4以上の揺れで全て破壊され、機能しない。
- 盛土構造物の海岸堤防は、地震により震度4以上の揺れで地震前の25%の高さまで沈下。津波が越流した場合は、全て破壊され機能しない。
- 初期潮位は満潮位。



# 留意事項

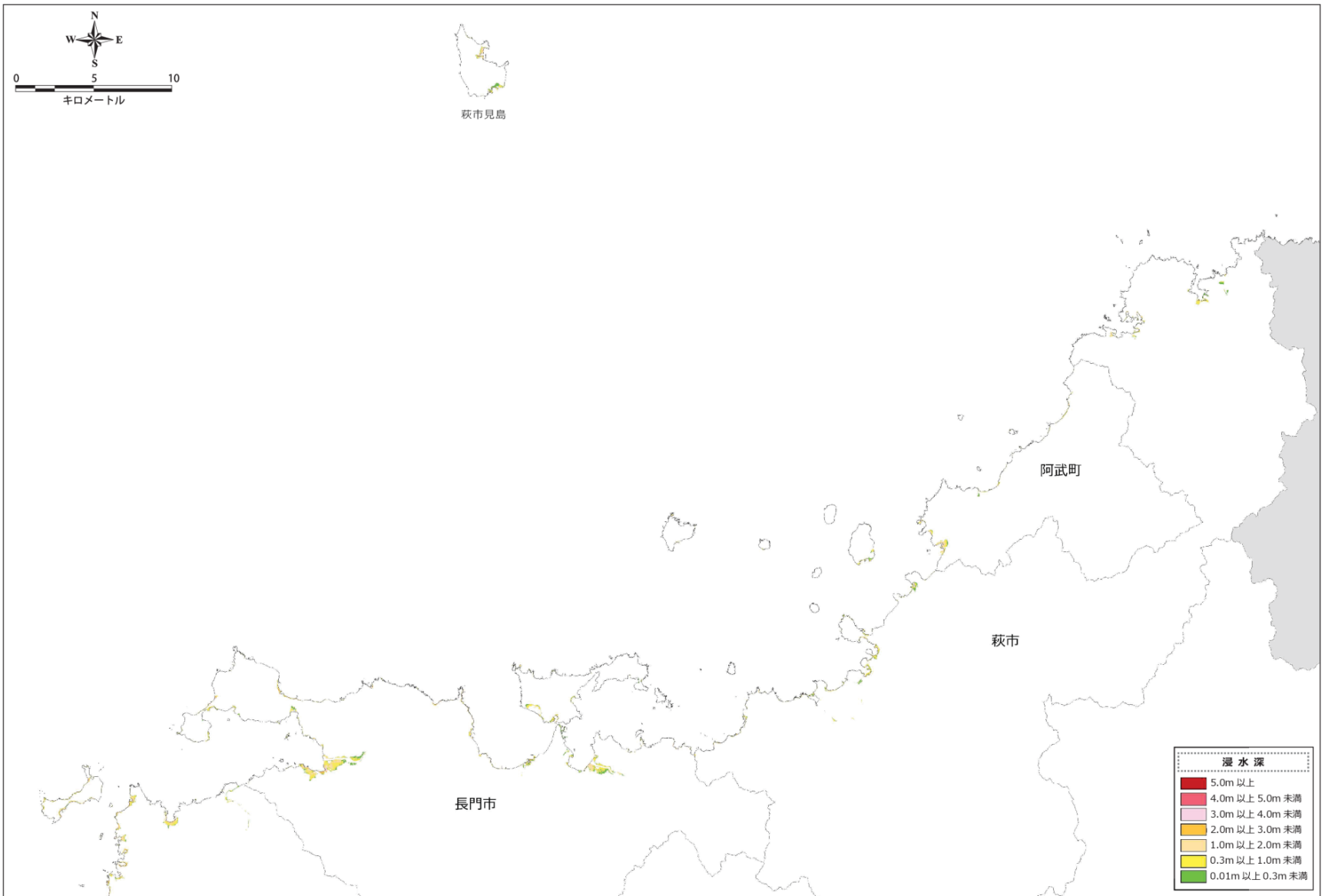
- 最大クラスの津波を想定したもので、日本海で次に発生する可能性が高い地震を想定したものではない。
- 活断層による地震の発生間隔は、その多くが千年から数千年、あるいはそれ以上とされ、南海トラフ地震とはその切迫性が大きく異なるが、これらの地震がいつ起こるか分からないものとして備えることが重要。

※南海トラフ地震 発生間隔：概ね100～150年  
今後30年の発生確率：70%程度



## 2 浸水想定結果

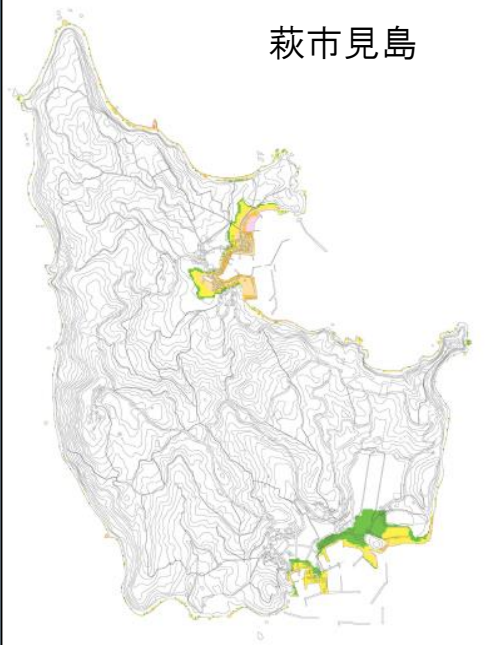
# 山口県津波浸水想定（日本海側） 全体図 1/2



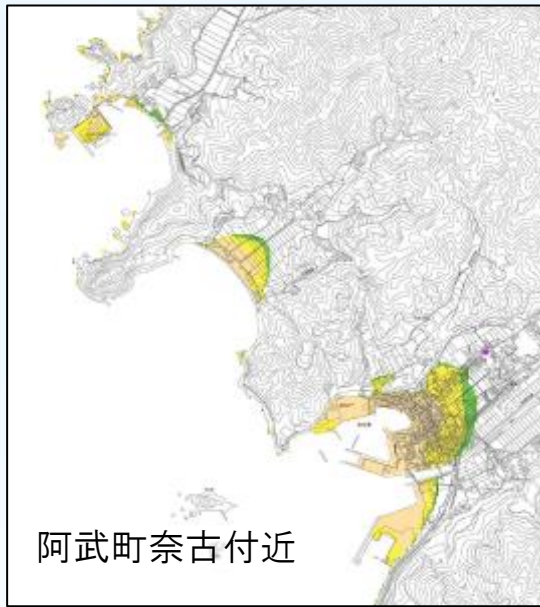
# 山口県津波浸水想定（日本海側） 全体図 2/2



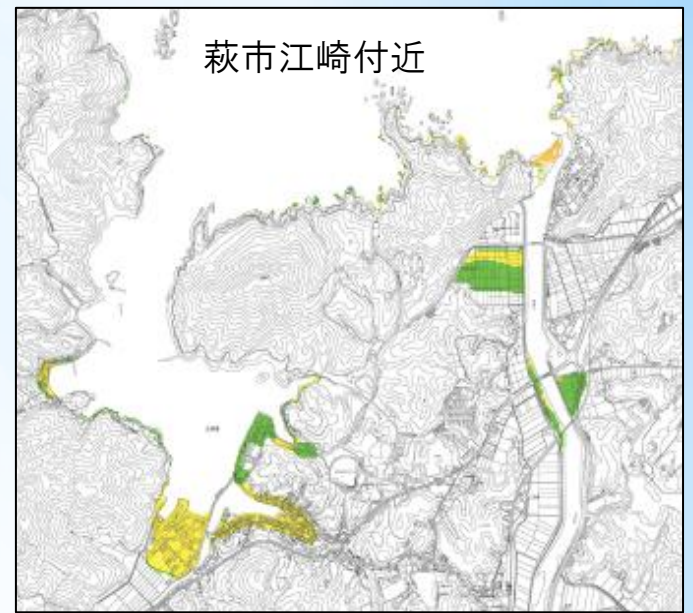
萩市見島



阿武町奈古付近



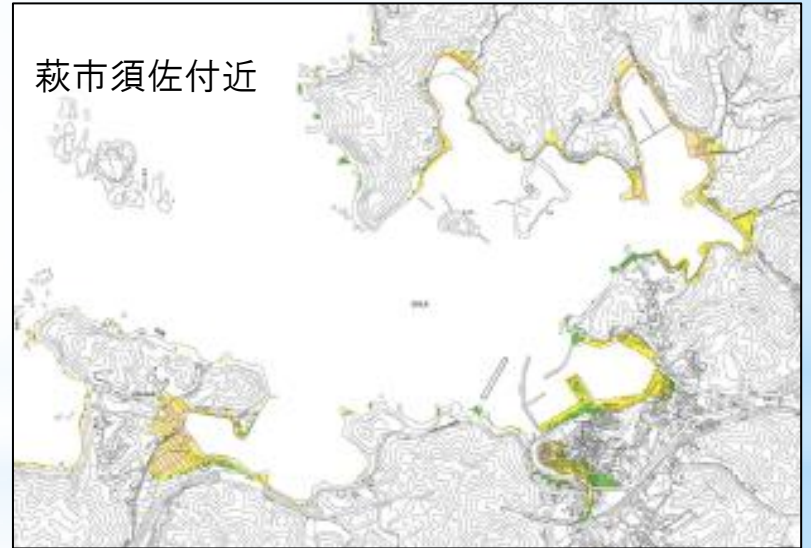
萩市江崎付近



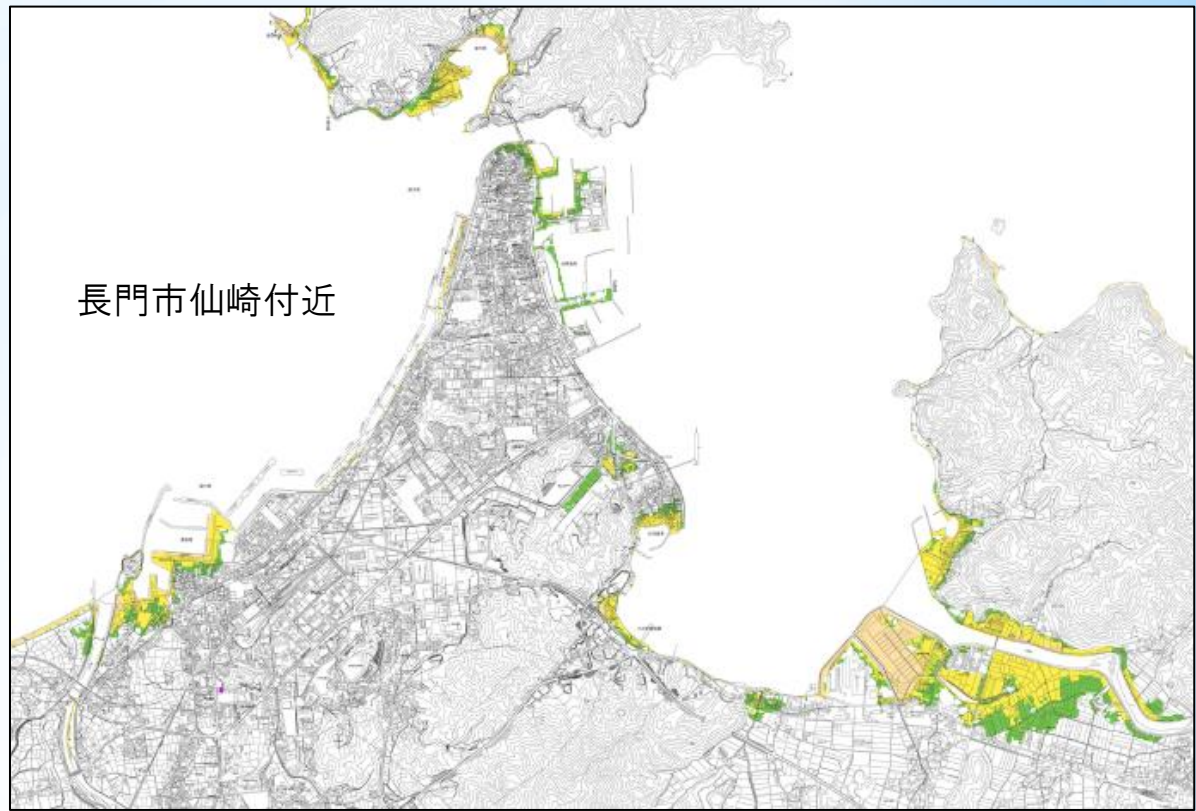
萩市中心部付近



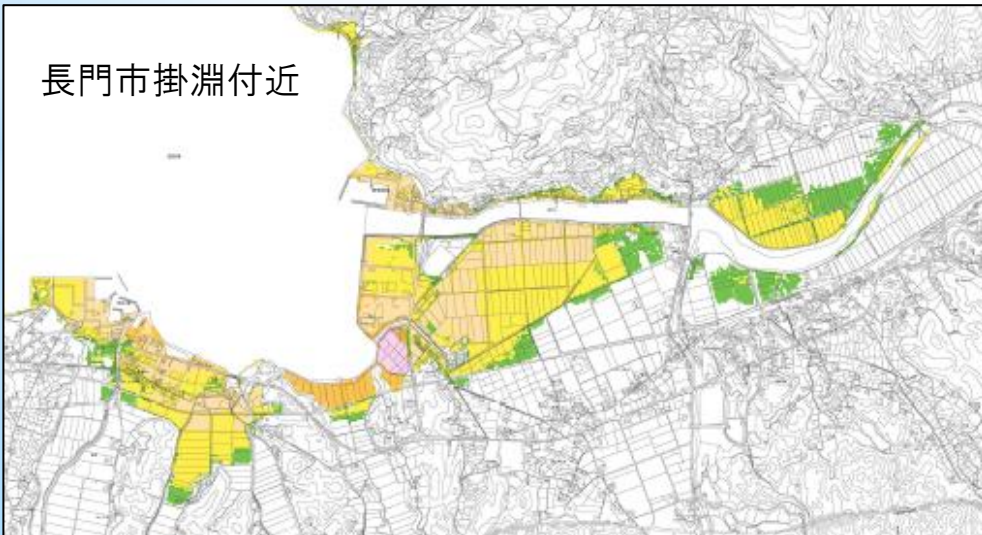
萩市須佐付近



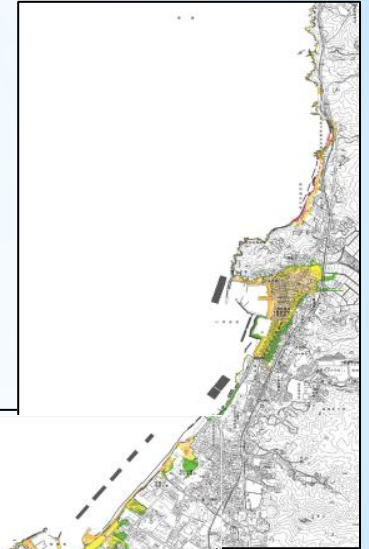
長門市仙崎付近



長門市掛淵付近



下関市角島付近



下関市小串付近



下関市彦島付近



# 主要な港湾・漁港区域内の 代表地点における最高津波水位等

※代表地点：背後に家屋等の多い地点

市町	区域名	見島付近西部断層					見島北方沖西部断層					F60断層				
		最高津波水位		最高津波 水位到達 時間(分)	海面変動影響		最高津波水位		最高津波 水位到達 時間(分)	海面変動影響		最高津波水位		最高津波 水位到達 時間(分)	海面変動影響	
		(T.P.m)	うち(m) 津波波高		開始時間 (分)	上昇 下降	(T.P.m)	うち(m) 津波波高		開始時間 (分)	上昇 下降	(T.P.m)	うち(m) 津波波高		開始時間 (分)	上昇 下降
下関市	下関漁港	1.3	0.2	82	81	上昇	1.3	0.2	105	103	上昇	1.5	0.4	67	52	下降
	安岡漁港	1.8	0.7	62	51	下降	1.6	0.5	127	95	上昇	2.1	1.0	71	33	下降
	小串漁港	2.0	1.0	48	44	下降	1.8	0.7	94	81	上昇	3.7	2.6	50	30	下降
	特牛港	2.1	1.2	39	36	下降	1.7	0.8	92	71	上昇	2.7	1.8	43	30	下降
	角島港	1.7	0.8	37	34	下降	1.7	0.8	89	70	上昇	2.7	1.8	49	30	下降
	阿川漁港	2.4	1.5	35	33	下降	1.7	0.7	126	66	上昇	3.2	2.3	52	39	下降
長門市	掛淵漁港	2.1	1.2	48	44	下降	1.6	0.6	95	76	上昇	3.4	2.5	65	47	下降
	川尻漁港	2.9	2.0	30	28	下降	1.8	0.9	75	60	上昇	1.8	0.9	53	45	下降
	黄波戸漁港	2.4	1.5	45	35	下降	2.1	1.1	97	65	上昇	1.7	0.8	64	56	下降
	湊漁港	2.8	1.9	43	39	下降	1.4	0.5	94	70	上昇	2.3	1.4	70	57	下降
	仙崎漁港	1.7	0.8	55	53	下降	1.8	0.9	119	75	上昇	1.5	0.6	86	72	下降
	野波瀬漁港	1.7	0.8	69	50	下降	2.0	1.0	110	74	上昇	1.5	0.6	98	68	下降
萩市	三見漁港	2.4	1.5	42	41	下降	2.3	1.4	84	70	上昇	1.6	0.7	73	65	下降
	萩港(浜崎)	2.1	1.1	47	43	下降	1.8	0.9	75	71	上昇	2.0	1.0	77	67	下降
	大井漁港	2.0	1.1	46	43	下降	1.5	0.6	73	69	上昇	2.0	1.1	78	72	下降
	見島漁港	1.4	0.8	18	17	下降	1.9	1.3	59	47	上昇	1.6	1.0	60	55	下降
	須佐漁港	2.1	1.2	84	44	下降	1.7	0.8	110	62	上昇	1.9	1.0	83	78	下降
	江崎漁港	2.0	1.0	75	49	下降	1.7	0.8	103	64	上昇	1.7	0.7	91	84	下降
阿武町	奈古漁港	3.0	2.0	45	43	下降	2.4	1.5	89	68	上昇	2.7	1.7	79	70	下降
	宇田郷漁港	2.2	1.3	44	41	下降	2.1	1.2	87	63	上昇	2.6	1.6	79	72	下降

※「最高津波水位」は、海岸線から沖合約30m地点における津波水位の最大値を標高表示。

小数点以下第2位を切り上げ。

※到達時間、海面変動影響開始時間は、小数点以下第1位を切り捨て。

## ① 最高津波水位

下関市	小串漁港	3.7 m	F60断層
長門市	掛淵漁港	3.4 m	//
萩市	三見漁港	2.4 m	見島付近西部断層
阿武町	奈古漁港	3.0 m	//

## ② 最高津波水位到達時間

下関市	阿川漁港	35分	見島付近西部断層
長門市	川尻漁港	30分	//
萩市	見島漁港	18分	//
阿武町	宇田郷漁港	44分	//



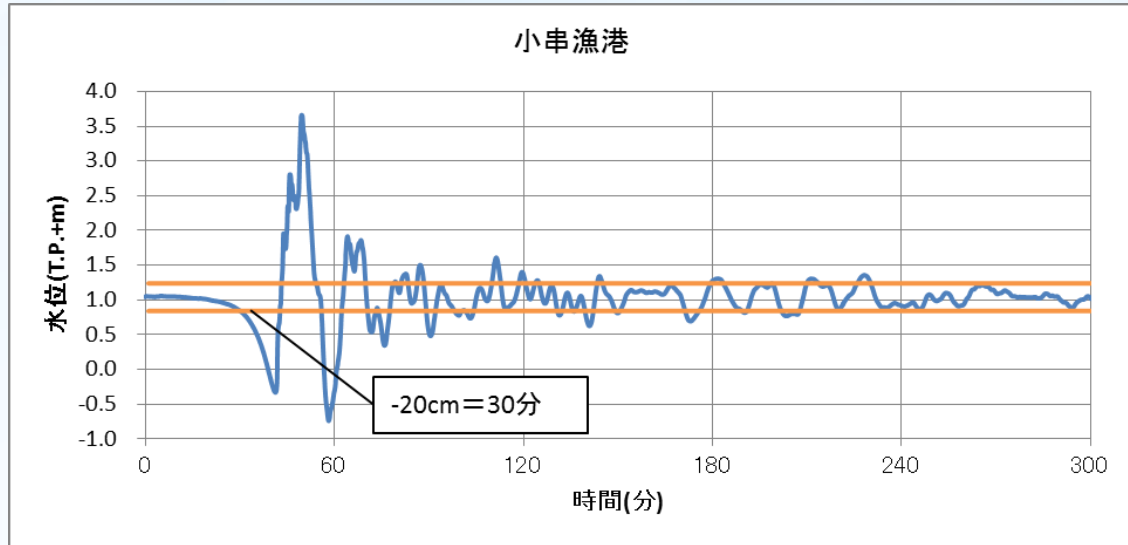
### ③ 海面変動影響開始時間

※ 地震発生後に±20cmの変動が生じるまでの最短時間

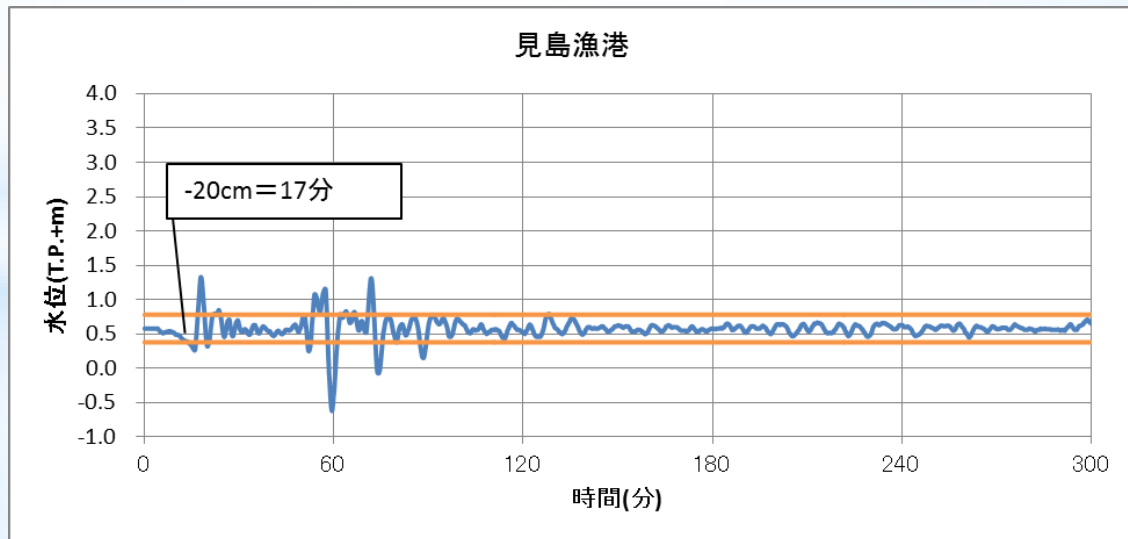
下関市	小串漁港他	30分	F60断層
長門市	川尻漁港	28分	見島付近西部断層
萩市	見島漁港	17分	//
阿武町	宇田郷漁港	41分	//

# ④ 水位時系列變化

[F60断層]



見島付近  
西部断層



## ⑤ 浸水面積

県全体浸水面積：1,396ha

区分	浸水面積（1cm以上、単位：ha）					
		うち 30cm以上	うち 1m以上	うち 2m以上	うち 5m以上	うち 10m以上
下関市	669	531	268	76	*	—
萩市	210	146	58	14	—	—
長門市	384	293	132	36	*	—
阿武町	58	47	25	2	—	—
山陽小野田市	75	73	70	15	—	—
県計	1,396	1,090	553	143	*	—

※「\*」は1ha未満、「—」は浸水なし

### 3 今後の取組

- 県民への周知を図るとともに、住民の迅速かつ主体的な避難を促すため、市町と連携し、防災意識の醸成や津波避難訓練等を実施。
- 県は津波災害警戒区域の指定、市町は津波ハザードマップの作成等により警戒避難体制の整備を推進。